

# 令和5年度 学校評価アンケートの概要について

## 1 回収率

実施日：令和5年11月20日（月）～12月4日（月）

対 象		回答者数	回収率	(昨年度)
生徒	91名	88名	96.7%	(99.0%)
寄宿舎生	41名	39名	95.1%	(100.0%)
保護者	90名	88名	97.8%	(92.6%)
教職員	74名	74名	100.0%	(100.0%)

## 2 結果と考察

○保護者・職員 A「当てはまる」、B「やや当てはまる」、C「あまり当てはまらない」、D「当てはまらない」から選択

○生徒・寄宿舎生 A「できる、わかる、はい、ある」、B「できない、わからない いいえ、ない」から選択

### (1) 学校経営全般について

○生徒、保護者、教職員とも全項目において、肯定的評価が85%以上であった。

●生徒からの教職員に悩みを伝えたり相談したりすることができるという回答の割合が全対象において減少し、生徒88.6% (-5.2%)、保護者93.0% (-2.5%)、教職員95.9% (-4.1)であった。今後も、一層生徒の思いや考えを丁寧に聞き取り、学校全体で共有して、生徒へしていきたい。

### (2) 学習活動について

○生徒、保護者、教職員ともほぼ全ての項目において、肯定的評価が95%以上で昨年度よりほとんどの項目が増加した。

○生徒の専門教科や実習で働く力がついてきているという回答の割合が昨年度に比較して5.0%増加だった。

○昨年度87.5%だった生徒の他の高校生との交流や地域貢献活動は6.8%増加し94.3%だった。保護者と教職員においてもそれぞれ増加しており、コロナ禍が明け充実した活動が戻ってきたためと考えられる。

●唯一の減少が、教職員の卒業後の生活に必要な読み書き計算など基本的な学力の定着についてで、2.5%減少だった。近年、生徒の実態が多様化してきている状況を踏まえ、学習内容や取り組み方など評価しながら引き続き適切な指導・支援に務めたい。

### (3) 生活面の指導支援について

○生徒、保護者は全項目において、肯定的評価が90%以上であった。

●教職員は、基本的な生活習慣の確立や卒業後の生活の自立に向け、適切な指導・支援を行っているの項目が3.8%減少しており、学習活動についてと同様に適切な指導・支援に務めたい。

### (4) 科の選択について

○生徒、保護者、教職員ともには94%以上の肯定的評価だった（生徒の肯定的評価は100%）。

今後とも生徒、保護者への丁寧な説明を継続したい。

### (5) 進路指導について

○生徒、保護者、教職員とも肯定的評価が90%以上で、いずれも昨年より増加となった。

今後とも、生徒の個々の状況に合わせた進路学習の充実と丁寧な情報提供を継続したい。

(6) **保健安全**について

○生徒、保護者、教職員とも全項目において、肯定的評価が93%以上であった。  
健康や安全、思いやりなどについても、これまでの学習を継続しながらより一層学習の充実を進めていきたい。

(7) **施設設備**について

○教職員、保護者とも肯定的評価が89%以上であった。  
●保護者の肯定的評価の割合が1.3%減少した。開校から26年が経過する中、学習や寄宿舎生活への影響を最小限に抑える努力はしているものの、今後の心配や不安があるものとする。今後も県への要望を続けながら教育環境の整備に努めたい。

(8) **PTA活動**について

○保護者、教職員とも肯定的評価が95%以上であった。  
今年度も新型コロナウイルス感染症の防止対策を講じるとともに、保護者の理解を得ながら進めてきたところである。引き続き、共通理解を図りながら適したPTA活動を実施していきたい。

(9) **寄宿舎**について

○生徒、保護者、教職員とも全項目において、肯定的評価が89%以上であった。  
○生徒の舎4、5、6の項目がそれぞれ増加であった。  
●保護者については、ほとんどの項目が減少、教職員は悩みや相談への対応と余暇や同好会活動についての項目が減少した。  
●生徒は自由時間や行事、余暇活動の項目が減少しているため、生徒の意向を踏まえながら、主体性を促し寄宿舎生活の充実を図りたい。

(10) **満足度**について

○生徒保護者ともに90%以上の肯定的評価であった。  
今後も生徒及び保護者の教育的ニーズをしっかりと把握しながら学校運営を進めたい。

(11) **全体として**

○全ての項目において、肯定的評価が80%以上であった。  
●肯定的評価のうち、生徒と保護者、教職員に若干開きが見られる項目があるので、生徒の側に立った見方・考え方も大切にしながら、丁寧な対応をしていきたい。  
今年度の学校評価で出された意見を次年度の学校運営計画に生かし、生徒、保護者への説明と教職員の共通理解をさらに進めながら、教育活動を一層充実させていきたい。